

令和2年度 特色ある道徳教育推進校（心の教育推進キャンペーン実施校）
袖ヶ浦市立根形中学校

研究主題

自他の良さを認め、自ら判断し、よりよく生きようとする生徒の育成
～「考え、議論する」授業展開及び評価の工夫を通して～

取組1 「考え、議論する」授業展開の工夫

<授業展開の工夫1>

○魅力ある道徳科授業の実践のために、学級担任だけでなく学年職員が学年内ローテーションを組み、各学級への授業展開を行う。

①道徳教育推進教師や研修部が中心となり、学校統一の道徳科の重点項目を決定する。

※小学校との研修部とも連携をとり、小中9年間をふまえた内容とする。

②生徒の実態把握を行うために全学年共通のアンケートをとり、結果を共有し道徳性の課題と指導方法を検討する。

③全校統一の授業実践を確立するために、授業展開の基本ラインを策定する。

ア 導入 *学習内容の確認をする。

*授業前の心の状態を確認するために、心情円を使用する。

*実態に合わせICTを活用し、教材への理解を深める。

イ 展開 *「伝え合い、学び合う場」を設定する。

・自分の考えをまとめる。

・グループ内での意見の交流を通して、考えを広げる。

・各グループでの討論を行い、意見を整理する。

ウ 終末 *心情円を使用して授業の「振り返り」を行い、授業後の心の変化を自己理解させる。

④授業ローテーションや教材の決定と準備を行う。

⑤授業参観を行う他、ワークシートを共有し、授業後の変容を確認しあうと共に、今後の課題を検討する。

<ローテーションの例※2学級/職員5人の場合>

担当/授業展開	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
職員A※担任	学級A	学級B	※	※	※	学級A
職員B※担任	学級B	※	※	※	学級A	学級B
職員C	※	学級A	学級B	※	※	※
職員D	※	※	学級A	学級B	※	※
職員E	※	※	※	学級A	学級B	※

※の時間は、授業のT・Tや他学年の授業参観で研修を深めると共に、授業準備を行う。

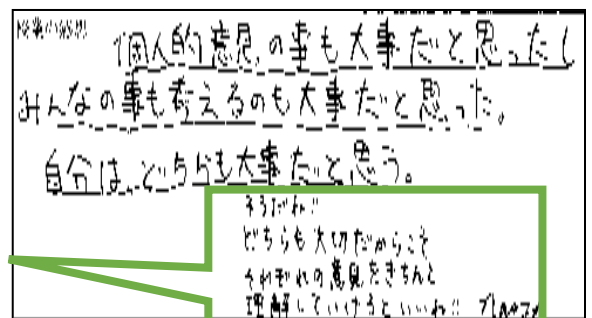
<授業展開の工夫2>

○発達段階に応じたワークシートを開発する。

*ポートフォリオとして道徳ノートを全校で統一する。

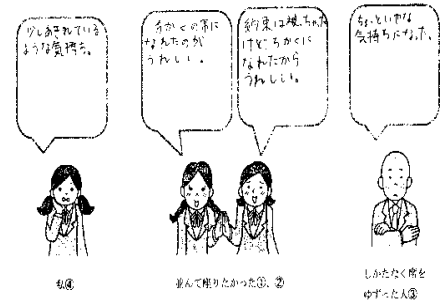
*授業内で完結できるように、1枚のワークシートと内容を整理する。

*変容と意欲の向上を確認し、ワークシートにコメントを入れる。



○役割演技等を通して「考え、議論する」場面を設定する。
 ＊授業研究を行い、指導方法の工夫と改善を図る。

1 「席替え」では、くじ引きの後、クラスのおぼりの人たちが順番に席を決めたが、それぞれの人には、どのような気持ちになったか、下のふきだしに書こう。



<授業展開の工夫3>

○授業の質的改善のために、「教材の吟味、発問の工夫、話し合いの活性化」のための指導方法などを各職員が研修した。

ア 全校道徳 令和元年6月24日(月)

内容項目／教材名	学級	場所	授業者	実践
C-(11) 公正、公平、社会主義 「いじめをこえて～誰もが自分らしく生きられる～」(NHK for school) 等	全校	体育館	田村 純一	ICT活用



イ 授業研究 令和元年7月16日(火)

内容項目／教材名	学級	場所	授業者	実践
友情、信頼B-(8) 「短文投稿サイトに友達の悪口を書くと」	1年B組	教室	今岡 直人	ロールプレイング
思いやり、感謝B-(6) 「一冊の漫画雑誌」	3年A組	教室	川村 直也	ロールプレイング

令和元年11月11日(月)

内容項目／教材名	学級	場所	授業者	実践
友情、信頼B-(8) 「みんなでとんだ！」	2年B組	教室	小笠原大将	教材提示映像

令和2年11月27日(金)

内容項目／教材名	学級	場所	授業者	実践
公正、公平、社会主義C-(11) 「席替え」	1年B組	教室	小笠原大将	ロールプレイング

取組2 「評価の工夫」

○授業の質的改善のために、指導方法や評価の仕方の研修を行った。

令和元年7月16日(火)

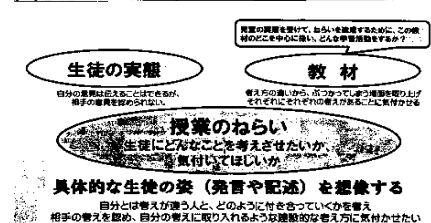
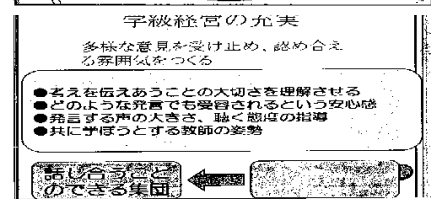
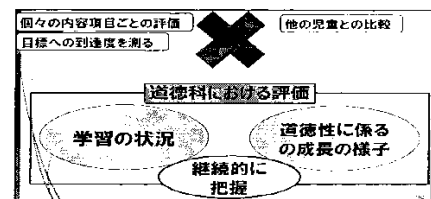
講師：千葉県教育庁南房総教育事務所
 鈴木 悠也 指導主事
 「特別の教科 道徳」の授業づくりと評価

令和元年8月20日(火)

講師：千葉県教育庁南房総教育事務所
 相良 和久 指導室長
 「考え、議論する」道徳の指導方法と評価の仕方

令和2年11月27日(金)

講師：千葉県教育庁南房総教育事務所
 福本 千里 指導主事
 特別の教科 道徳の授業について



取組3 「特別活動を通じた道徳教育の充実」

- いじめ撲滅集会（生徒会）
令和元年6月28日（金）



- ソーシャルメディア社会の光と影
（講演会）

～未来につながるネット・スマホの扱い方～
千葉大学非常勤講師メディアリテラシー教育
インターネット教育アドバイザー飯島淳先生
令和2年10月30日（金）



主な成果と課題

- 各学年とも人間関係がより安定してきて、道徳科の授業においても意欲的に発言できるようになっている。また少しずつではあるが、自己肯定感が向上してきている。
- 生徒の変容や課題を共有し、実態に応じた授業の工夫を実践するとともに、授業の質的向上のために研修を深めていく必要がある。

授業実践事例

中学校 第1学年 道徳科学習指導案

令和2年11月27日（金）

- 1 主題名 クラスの生活をよくするために C(11) 公正、公平、社会正義
- 2 教材名「席替え」 出典 「新しい道徳1」（東京書籍）（県の視点「支え合う喜び」）
- 3 本時の目標
主人公が席替えのやり直しを提案した理由について話し合い、公正さを重んじることの大切さを理解し、公正、公平な行動を心がけようとする意欲を高めることができる。
- 4 主題設定の理由
正義を重んじるということは、正しいと信じることを自ら積極的に実践できるように努めることであり、公正さを重んじるということは、私心にとらわれて事実をゆがめることを避けるように努めることである。道理にかなった正しいことを自ら認識し、それに基づいて適切な行為を主体的に判断し、実践しようとする意欲や態度を育みたい。
- 5 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点
導入 (5)	1 アンケート結果を見て、思うことを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・注意したいけど実際はできない。 ・嫌われるかもしれないという心配がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもたせる。 ・問題意識を自分の事として捉えさせる。 ・生徒が発言しやすいような雰囲気をつくる。
展開 (35)	2 「席替え」を範読する。 3 話の内容や問題点について整理する。 4 それぞれの役割の気持ちを考える。 ○勝手に席を決め直した後、それぞれの人はどの	<ul style="list-style-type: none"> ・勝手に席を変えるのは不公平。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材内容を整理させ、問題点を見つけやすくする。 ・アンケート結果と話の内容を関連させて、身近な事であると意識させる。 ・4人分全ての役割の気持ちを考える。

<p>ような気持ちになったか。</p> <p>5 役割演技を通して道徳的価値に迫る。 ＜中心発問＞ ◎勝手に席を決め直そうとした際に4人はどうすべきであったか。</p>	<p>・好きな友達の隣になりたい。 ・みんな好きに変わればいい。 ・勝手な人たちのせいで嫌な思いになった。</p> <p>・席替えの意味を考えて行動すべきであった。 ・全員に都合のいい席替えは難しいから公平を考えるべきだった。</p>	<p>・その立場に自分になったときをイメージさせる。 ・自分の率直な意見をワークシートに記入させる。(ワークシート)</p> <p>・全ての役割を演じさせ、自分の気持ちに近い特定の役だけでなく、自分から遠い人の立場にもなるようにする。 ・様々な役割の気持ちを想像し、体験的に実感させる。 ・4人がどうすべきであったかを考える。(ワークシート)</p>
<p>6 公正、公平の意味を考える。 ○公正、公平とは何だろう。</p>	<p>・自分勝手ではなく、みんなのことを考える。 ・勇気を出して、正しい行動をとること。</p> <p>2 劇中に登場人物の気持ちを考え、4人はその役割、本質はどうかを考えたか。 私 <u>もともと席を自分で決めたかった。</u> 席を譲られた人 <u>約束も守らずに勝手に席を替えてくれた。</u> 席を譲った人 <u>注意をして、変わらなければよかった。</u></p> <p>3 公正、公平を1年B組で実現していくためにはこれからあなたはどうに生活していきたいか。 他の人のことも考えた行動する。(自分が得しても他の人の利が損な思わなければいいから) 下には有利に、上の有利に、誰の利益も考えず、自分の利益だけ考える。人の話をよく聞く。自分の意見もよく伝える。自分の意見もよく伝える。自分の意見もよく伝える。</p>	<p>・意見交換の場をつかって自分以外の意見を共有させる。 ・他の意見を批判しないように声掛けをする。 ・意見に正解や不正解はなく様々な意見があり、一人一人違ってよいことを理解させ、認めさせる。 ・物事を多面的・多角的に捉えられるようにする。 ★意見交換の場面で、公正、公平について、多面的、多角的な見方へと発展しているか。(評価の視点) ・公正、公平とは、自己中心的な考えではなく、周囲のことを考え、社会をよりよくするものであることに気づけるようにする。</p>
<p>終末(10)</p>	<p>7 本時の活動を振り返り授業の感想を書く。 ○公正、公平を1年B組で実現していくためにこれからあなたはどのように生活していきたいか。</p>	<p>・自分だけが良ければいいではなく、周囲のことも考えて行動する。 ・周囲を優先できる心の広い人間になりたい。 ・ダメなことは注意していきたい。</p> <p>・自分の経験や今までの自分について振り返りながら考えるように声掛けをする。 ・クラスで生かせる公正、公平を考える。(ワークシート) ・数人に感想を発表させる。 ★本時の振り返りの場面で、公正、公平について、自分自身との関わりの中で深めているか。(評価の視点)</p>

6 授業における生徒の様子

- 生徒が学級生活の中で、一番関心のある席替えを教材として扱い、「公平・公正」について考えることができた。
- ロールプレイングでは、グループで考えた会話文で実演し、他者から受ける感情を考えた。
- グループ討論や全体の発表の場面でも、自分の考えをしっかりと伝えることができた。

